


心理学部 心理学科
講師 山岸 厚仁 YAMAGISHI Atsuhito
専門・活動分野 学習心理学、行動神経科学
最新の研究内容
テーマ： 向社会的行動のメカニズムの解明
研究/活動紹介
背景

我々は、苦難にあえぐ他者に寄り添い、手を差し伸べます。このような他者への共感とその発露として見られる向社会的行動は、社会生活に欠かせない心的機能といえるでしょう。向社会的行動はヒトに限らずげっ歯類を含む多くの動物に見られる基盤的行動であり、その行動学的・心理学的メカニズムについてはライフサイエンス分野で盛んに研究されています。一方、向社会的行動に関わるメカニズムは、他者との関係性や行為者の個人特性などの様々な要因が関わることから、いまだ未解明な点が多いテーマです。そうした背景から、向社会的行動を心理学・神経科学の視点から統合的に捉える枠組みの構築が求められています。

<仲間（左）をプールから救出するラット（右）>

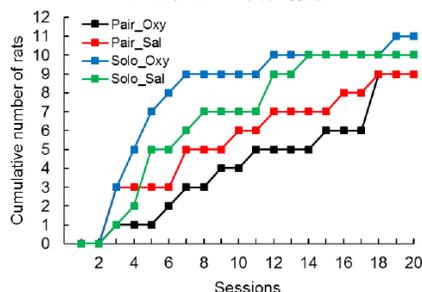

目的

げっ歯類を用いた心理学実験と神経科学的手法（局所脳領域への薬理処置、神経伝達物質の阻害薬・促進薬の投与、免疫組織化学的手法によるc-Fos等の脳内局所タンパクの可視化）を組み合わせ、向社会的行動やそれに関連する心的メカニズムを多層的に明らかにすることを目的としています。行動・情動・神経プロセスという3つの視点から向社会的行動の発現を説明する理論の構築を目指しています。

成果・効果や展望

これまでの研究から、向社会的行動における前部帯状皮質・扁桃核等の共感関連脳領域のオキシトシン神経系の役割、他個体との同居経験・ストレス経験といった後天的要因・情動反応性等の先天的要因が及ぼす影響について明らかにしてきました。今後は、向社会的行動の表出に関わる他の心的機能との関連について検討し、向社会的行動および共感性を理解するための統合的アプローチを進展させます。この取り組みにより、社会性の困難を抱える方の理解や支援に資する知見を提供できると考えられます。

<救助行動の獲得推移>


産学連携/地域貢献へのアピールポイント、相談可能事項

- ・ 向社会的行動・共感性・社会性などの心理学的・神経科学的研究の解説・勉強会など基礎的知見を役立てられる機会があれば幸いです。
- ・ 基礎的な学習行動，社会行動の実験に関する相談でもお役に立てることがあると考えております。

学会・経歴

- ・ 日本動物心理学会
- ・ 日本生理心理学会
- ・ 日本神経科学学会
- ・ 仁愛大学人間学部 特任助教を経て 2023年 同大学 講師（現在に至る）

<お問合せ窓口>

仁愛大学 地域共創センター TEL 0778-43-6576 e-mail collabo@jindai.ac.jp